

中部小動物臨床研究発表会

抄録原稿作成要領・投稿規定 2023 年版 (ver.1.1)

中部小動物臨床研究発表会（以下、中小臨）投稿規定

1. 原稿記述の基本原則

➤ 文章体裁

- ① 原稿はできるだけ短文で構成し、分かりやすい文章で書いてください。
- ② 大会規定に準拠する文字と文章体裁を使用してください。
- ③ 薬剤名、薬用量、単位等に間違いが無いように配慮してください。
- ④ 参考・引用文献は、読者が確実に照会できるよう正確に記述してください。*例年、抄録の多くに間違いや乱雑な書き方が認められます。

➤ 投稿・編集・校正

- ① 投稿の際には、抄録の記載内容にミス（内容、表記、数値、文献記載方法など）がないかどうか、しっかりと確かめてください。大会編集作業は査読ではないため、編集者は発表内容に干渉することはできません。
- ② 校正内容に関し、中小臨編集担当者から個別に連絡をする場合があります。
- ③ 発表者による原稿校正は原則 1 回で、最終校正は中小臨編集委員に委託していただきます。

2. 文字数、見出し、記述順序

- タイトルは (1)演題名、(2)筆頭発表者名、(3)共同発表者名、(4)所属機関名・郵便番号・住所、(5)Keywords で構成してください。これらは原稿の字数に含まれません。筆頭発表者と共同発表者の全員の、和名（姓・名）とローマ字名（ファーストネーム・ファミリーネーム）を登録してください。また、右上付き算用数字と右カッコで、発表者全ての所属機関を振り分けてください。

例：三原 吉平 Kippeï MIHARA ^{1,2)}、金本 勇 Isamu KANEMOTO ¹⁾

1) 茶屋ヶ坂動物病院 〒464-0003 愛知県名古屋市千種区新西 1-1-5

2) 鹿児島大学共同獣医学部 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-24

- Keywords には、発表の中で重要と思われる、動物種（必須、品種ではない）、重要語句、診断名、検査法、治療法などから 2~5 語句を記載してください。Keywords 内での動物種の記載は必須です。動物種が数種になる場合も、全種を Keywords に記述して下さい。
- タイトルに続いて抄録の (6) 要約、(7) 本文を作成してください。本文は、
- 1) 症例発表の場合：「はじめに」、「症例」、「考察」、「参考文献」
 - 2) 研究報告の場合は「はじめに」、「材料および方法」、「成績」、「考察」、「参考文献」

の見出し順に書いてください。

- 原稿文字数は要約を含んで 2,000 字以上、3,500 字以内としてください。図表は 1 点につき 350 字として計算してください。付図には必ず、付図番号を振り、説明文をつけてください。
- 「はじめに」は抄録の体裁上、なるべく 400 文字以内として下さい。

3. 表記の要点

- 数字は算用数字を用いる。例：一例 → 1 例
- ローマ字および算用数字は全て半角文字を使用する。
- 半角のくぎりはカンマ(,)、全角の区切りは読点(、)を使用する。
- 薬品は薬剤名で記述する。
- 略語を使用する場合、初出時に全て定義する。略化前の正式名称の有無は問わない。例：僧帽弁閉鎖不全(mitral regurgitation、以下 MR)
- 図表
 - ① 図表の参照箇所を、本文中に必ず指定する。図表の指定は句点の内側(文中)に入れる。
例：「～を行った(図1)。」
 - ② 用語は「図」と「表」のみで、その他不可(「Fig」、「Tab」、「写真」など)。
- 当用漢字を用いる。難読漢字は漢字を使用せず、ひらがなのままにする。
 - いずれ 何れ、
なお 尚、
ほとんど 殆ど、
ない 無い、
まれ 稀、
わずか 僅か、
ために 為に、
さらに 更に、
みる 診る、
および 及び
- 動物種は漢字表記：犬、猫、牛、馬、兔など
- 品種は完全表記かつ中黒点(・)で区切り
 - ゴールデン・レトリバー、ミニチュア・ダックスフンド、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル、アメリカン・コッカー・スパニエル、など
- 表記を統一すべき語句、漢字
 - 雄、雌、1 歳齡、1 ヶ所、1 五月、インターズー、飼主、as (*雑誌名)、SID (*大文字か小文字か)、Vol. (*ピリオドを書く)、症例 (×患者)、うっ血 (×鬱血)、
- 表記を統一しない語句、漢字、文字
 - ストラバイト ストルバイト スツルバイト
 - 元気・食欲 元気、食欲
 - X線検査 レントゲン検査
 - 体重 1kg あたり 10mg 10mg/kg
 - C4-5 C₄₋₅

4. 参考文献の記載方法

- 著者名記述方法
 - ① 英字名：(ファミリーネーム) + (半角スペース) + (ファーストネームの頭文字) + (セカンド(ミドル)ネームの頭文字)

例：John Fitzgerald Kennedy → Kennedy JF

② 和名：(姓) + (名)

例：金本勇、三原吉平

- 著者は3名まで記載し、以下、和文では「、他」、英文では「, et al」を加筆する。
- 筆頭著者のファミリーネーム (姓) の、アルファベット順に番号を付けて列挙する。
- 本文中に引用箇所を上付き文字で表示する。
- 記述方法の基本構成 (*論題を書かない、doiを書かない)
- 文献のページを省略表記しない。「1550-53. → 1550-1553.」
- 雑誌・著者名(年)：雑誌名, 巻号, ページ.
- 本・著者名(年)：書名(編者、監修者、訳者、監訳者など)、ページ, 発行社名.

例：

- 1) 安藤正彦 (1987)：循環器病学第 2 版 (村田和彦、細田瑛一編)、284-286, 医学書院.
- 2) Eyster GE (1993)：Textbook of Small Animal Surgery, 2nd ed (Slatter D ed), 893-918, WB Saunders Co.
- 3) 伊東輝夫、西敦子、内田和幸、他(2014)：獣医畜産新報、67, 839-843.
- 4) 鯉江洋、鈴木隆之、山谷吉樹、他(1994)：第3回中部小動物臨床研究発表会プロシーディング、118-119.
- 5) Patnaik AK, Ehler WJ, MacEwen EG (1984)：Vet. Pathol., 21, 469-474.
- 6) Pratschke KM, Atherton MJ, Sillito JA, et al (2013)：JAVMA, 243, 1436-1441.

5. 雑則

- 半角かっこの前後には半角スペースをいれる。ただし、文献のところは半角かっこの前後のスペースなし。
- 原稿が見開き1ページに達さない場合も文章の追加不要。
- 参考文献や所属は上付き文字 「金本勇^{1,5)}」
- 項目名、単位系の統一にご協力ください。別表通りに統一してください。

Blood Chemistry

| 項目 | 単位 | 項目 | 単位 | 項目 | 単位 |
|-----------|------|-------|--------|-----------------|-------|
| TPP | g/dℓ | BUN | mg/dℓ | NH ₃ | μg/dℓ |
| Alb | g/dℓ | Cre | mg/dℓ | Fe | μg/dℓ |
| Glb | g/dℓ | UN/Cr | | TIBC | μg/dℓ |
| A/G | | Glu | mg/dℓ | Tf-sat | % |
| AST | U/ℓ | Tcho | mg/dℓ | LDH | U/ℓ |
| ALT | U/ℓ | TBil | mg/dℓ | LDH I | % |
| ALP | U/ℓ | TG | mg/dℓ | LDH II | % |
| GGT | U/ℓ | Ca | mg/dℓ | LDH III | % |
| CK | U/ℓ | Na | mmol/ℓ | LDH IV | % |
| Amy | U/ℓ | K | mmol/ℓ | | |
| ★配列は1例です。 | | Cl | mmol/ℓ | | |
| | | TBA | μmol/ℓ | | |

CBC

| 項目 | 単位 | 項目 | 単位 |
|------|--------------------------|--------|--------------|
| RBC | $\times 10^6 / \mu \ell$ | WBC | $/ \mu \ell$ |
| Hb | g/dℓ | Band-N | $/ \mu \ell$ |
| PCV | % | Seg-N | $/ \mu \ell$ |
| MCV | fℓ | Lym | $/ \mu \ell$ |
| MCHC | g/dℓ | Mon | $/ \mu \ell$ |
| MCH | pg | Eos | $/ \mu \ell$ |
| II | | | |
| Ret | % | | |
| RPI | | | |
| Plat | $\times 10^6 / \mu \ell$ | | |
| Fibn | mg/dℓ | | |
| NRBC | /100WBC | | |